



大阪府中央会情報連絡員報告

## 府内中小企業の景況

2022年  
4月

- 4月のDIは、全9指標のうち8指標が上昇、主要3指標は、売上高28ポイント上昇、収益状況と業界の景況は、前月より上昇している。
- 4月末時点では、製造業では6指標のDIが上昇し、また非製造業では6指標のDIが上昇している。

### 景況天気図

令和4年 4月分	全産業			製造業			非製造業		
	3月	4月	前月比	3月	4月	前月比	3月	4月	前月比
売上高	△16 	12 	↗ 28	△13 	20 	↗ 33	22 	0 	↗ 22
在庫数量	5 	5 	→ 0	14 	13 	↗ 1	△33 	△25 	↘ -8
販売価格	8 	24 	↗ 16	7 	20 	↗ 13	11 	30 	↗ 19
取引条件	△13 	△12 	↗ 1	△20 	△26 	↘ -6	0 	10 	↗ 10
収益状況	△50 	△36 	↗ 14	0 	0 	→ 0	△22 	△20 	↗ 2
資金繰り	△17 	△8 	↗ 9	△26 	△13 	↗ 13	0 	0 	→ 0
設備操業度	△26 	△13 	↗ 13	△26 	△13 	↗ 13			
雇用人員	△4 	0 	↗ 4	0 	0 	→ 0	△11 	0 	↗ 11
業界の景況	△38 	△16 	↗ 22	△46 	△40 	↗ 6	△22 	20 	↗ 42

30以上



快晴

10~29



晴れ

9~△9



うす曇り

△10~△29



くもり

△30~△49



雨

△50以上

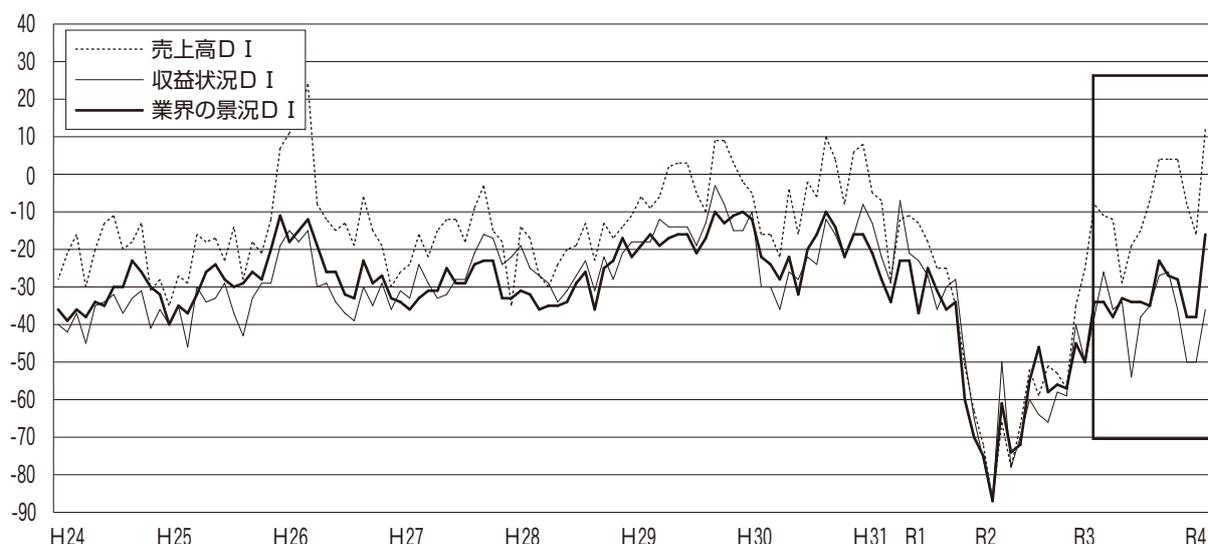


大雨

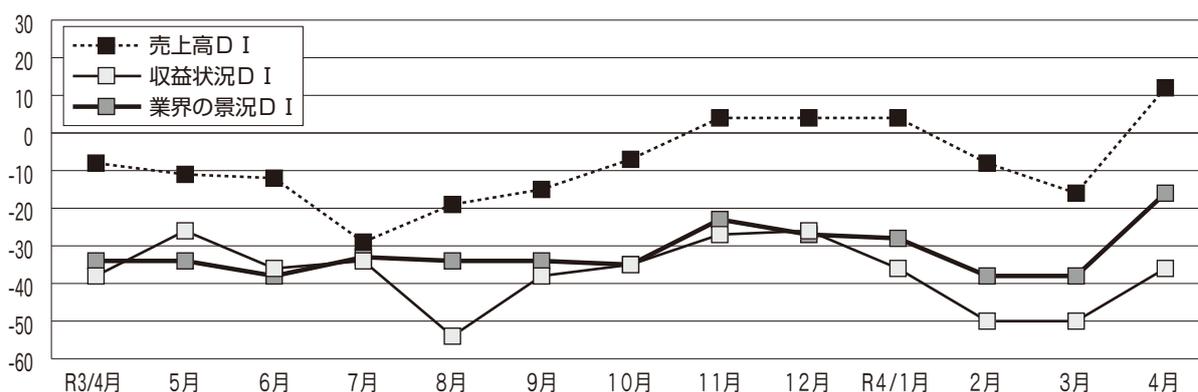
天気図の見方…各景況項目について「増加」(または「好転」)業種割合から「減少」(または「悪化」)業種割合を引いた値をもとに作成。その基準は右記のとおりです。ただし、在庫数量はプラスの場合は雨、マイナスの場合は晴れの方向に表しています。

DI (Diffusion Index: ディフュージョン・インデックス) とは、景気動向指数や景気判断指数と呼ばれており、景気動向を早期に把握するために使われる指標である。「増加・上昇・好転」といったプラス回答の比率から、「減少・低下・悪化」というマイナス回答の比率を差し引いて求める。

## 全産業 H24年4月～R4年4月のD Iの推移



## 全産業 R3年4月～R4年4月のD Iの推移



調査・研究

## 業種別概況 (4月分)

## 【製造業】



## 水産食料品製造業

魚価高騰に伴い、販売価格は上昇し、売上高や収益状況は悪化している。



## 綿・スフ織物製造業

新型コロナウイルス感染症の影響により、業界は未だ回復の見通しがつかない状態である。また、エネルギーコストの影響により物価の高騰や急速な円安の進行に伴い、業界の状況はさらに厳しさを増している。



## 木材加工業

前年同月と比べて売上高は増加しているが、ロシアは日本を含む「非友好国」に対して、木材の輸出を禁止する措置を発動しており、今後は木材の仕入が困難となることが予想される。



## 古紙収集加工業

新聞古紙の発生は、前年同月と比較しても厳しく、また白物古紙もパーパーレスにより大幅な減少となっており、段ボール古紙だけが前年並と予想され、業界全体としての景況は悪化している。



## 製本業

ロシアのウクライナ侵攻により、原材料価格および物価上昇の影響を受け、業界は一段と厳しい経営を余儀なくされている。



## シール印刷業

組合員企業は、食品・電気製品・化粧品・物流・医薬関連等の下請けが大部分を占めており、原油価格の高騰や製造コストの上昇で価格転嫁が進まない状況が続いている。



## セルロイドプラスチック製品製造業

ロシアのウクライナ侵攻に起因するエネルギーコスト（電力、燃料）・石化由来樹脂原料の値上げで利益は圧縮されており、販売価格への転嫁も十分ではないことから業界の景況は悪化している。



## 石鹼洗剤製造業

コロナ禍に加えロシア軍のウクライナ侵攻に伴い、原材料価格の高騰、運送費等の経費増で収益状況は悪化しており、廃業に追い込まれる企業が多くなってきている。



## 鍛造業

生産量は今月も前年を上回り、16ヶ月連続上昇し、全体で前年比約107%となった。一方一部用途別で前年比を下回るなど、全体的にも徐々に増加率が低下している。今後、材料費、燃料費等の高騰等による収益悪化が懸念される。



## 建築金物製造業

急速な円安の進行、燃料価格の上昇による原材料費や流通コストの高騰等により、販売価格や収益の悪化が進行している。さらにロシア・ウクライナ情勢、新型コロナウイルスの感染拡大による回復の見通しがつかないこともあり、景況は悪化している。



## 産業機器製造業

昨年同様の生産量で推移しているが、自動車の減産による影響が懸念される。



## 印刷製本機械製造業

ロシアによるウクライナ侵攻の影響で半導体を中心と

した部材・部品不足が顕著になっている。完成品にならない仕掛品が増え、在庫が増加、資金繰りが悪化している。

## 【非製造業】



## 電気機器卸売業

前年同月期比で、売上は略横這いで推移。販売価格の上昇により、粗利は好転しており、業界の景況としては安定している。



## 衣服・身の回品卸売業

原材料の高騰や急速な円安の進行により、採算面は悪化基調にある。



## 二輪自動車小売業

新車供給の遅れによる、中古車仕入れ価格や販売価格上昇の影響により、ユーザーの購買意欲が低下し、業界の景況は悪化している。



## 地質調査業

業界としては景況が安定している。



## 警備業

新型コロナウイルス感染症の影響で中止されていた大型雑踏警備業務が3年振りに開催されたこともあり、売上・収益とも増加した。



## 建設業

原材料・資材等の価格高騰により、受注にも影響がでており、収益状況は悪化している。



## タイル工事業

材料並びに設備部品の流通量増加により、業界の景況としては好転しているが、物価の高騰や急速な円安の進行に伴い、メーカーや仕入先からの値上げ要請が相次いでいる。



## 貨物運送業

前年同月に比べ、件数と単価が上昇し売上高も前年と比べ増加したが、引越資器材や燃料価格が増加したため収益状況の変化は見られなかった。